

## 当科にて唇顎口蓋裂の矯正歯科診療を受けられている方へ

当科は、唇顎口蓋裂の患者さんに対する治療を改善することを目的に、治療結果を科学的に評価することを目的とした一般社団法人・日本口蓋裂学会の **Japancleft** 委員会の活動に参加しています。この活動は、東大病院だけでなく、多施設共同研究として日本全国の病院が参加しているものです。このたび、その活動の一環として唇顎口蓋裂を持つ患者さんの乳歯列期の不正咬合（悪い咬みあわせ）を科学的に評価する研究を行うこととなりました。つきましては、これまで矯正歯科治療のために作成した歯列模型（歯型）を研究に用いさせていただきます。

### 【対象となる方】

1993年4月1日～2012年6月30日までの間に、本院顎口腔外科・歯科矯正歯科において唇顎口蓋裂に伴う不正咬合の治療のため検査を受けられた患者さんのうち、乳歯列期に歯列模型を作成された方（模型作成時年齢4～6歳）。

### 【研究の目的・意義】

日本の多くの病院が協力して不正咬合を客観的に評価することにより、現在行われている手術や矯正歯科治療の方法を改善することが目的です。

### 【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認の上、過去の資料に基づいた後ろ向き研究として行われます。実際には、これまでに作成した歯列模型をもとに複写模型を作成し、誰のものか解らないようにした上でその不正咬合の程度を判定します。また、模型を作成した患者さんの年齢、性別、唇顎口蓋裂の種類、裂の程度、手術の時期・方法、手術や言語治療に関連して行った治療記録を合わせて用いますが、すべて匿名化（誰のものか解らないようにすること）した上で用います。従って、患者さんが不快な思いをされることはありませんし、新たにご負担いただくこともありません。研究結果は、集団として多くの患者さんの結果を集計したのち、学術集会・学術雑誌で公表される予定です。

この研究に関してご不明な点がある場合、ご自分の歯列模型を使用してほしい場合は、担当医にお申し出いただくか下記にご連絡下さい。なお、この研究への参加をお断りになった場合にも、当科における診療・治療において不利益をこうむることはありません。

### 【研究組織名】

一般社団法人・日本口蓋裂学会 **Japancleft** 委員会  
委員長： 新潟大学医歯学総合研究科 齋藤功 教授  
事務局： 〒135-0033 東京都江東区深川 2-4-11  
一ツ橋印刷(株) 学会事務センター内  
電話： 03-5260-1953

### 【連絡先】

東京大学医学部附属病院 顎口腔外科・歯科矯正歯科  
准教授 須佐美隆史  
東京都文京区本郷 7-3-1  
電話：03-5800-8669、ファックス：03-5800-6832